



# ぶらたなす 学校通信

令和6年  
9月18日  
河北町立  
谷地中部小学校

**キーワード 「前に踏み出す力」「チーム力」「考え抜く力」**

9月に入り若干涼しい日も見られますが、残暑はまだ続きます。子どもたちは昇降口に掲示される WBGT 指数を見ながら、自分で納得してそれぞれの活動に、工夫して考えたり協力してできることにチャレンジしたりして取り組んでいます。保護者・地域の皆様からは、子どもたちの安全を考慮した様々な対応にご協力いただき心より感謝申し上げます。今後も3つのキーワードからなる社会人基礎力を養い、学習でも生活でも自ら考え判断して行動できる子どもたちをめざしていききたいと思います。今後ともよろしく願います。

**「前に踏み出す力 (主体性)」**

**「考え抜く力(解決・創造)」**

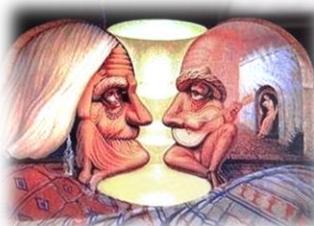


## 根拠を示して答える力「この絵から何がわかりますか？」

校長室前に「絵を読むメソッド」の絵を週に1枚ずつ増やして掲示しています。「季節は？場所は？少年の思いは？」「理由をつけて答えましょう」  
全国学力学習状況調査においても、近年山形県で課題とされている「複数の情報を分析し、根拠を示して答える力」の育成です。子どもたちも「わかった～」と校長室に。未来社会につながる大事な力です。



## 多角的・多面的にみる力 ー校長講話ー ZOOM オンラインにて



「見方を変えてそれぞれが2つの絵に見えますか？」 上の左2枚は始業式の時に使用した絵です。これらは、同じ答えを導く時にも考え方は多様でいい、自分が気にしないことでも相手はそうとはかぎらないということにもつなげて話をしました。多様性・差異を認め、多面的・多角的に見ることができると中部の子になってほしいと思います。

## 町議会訪問・学校保健委員会～地域のみなさまの支援

町議会議員のみなさまからは、授業視察と「子どもたちに付けたい力」をテーマにした演習を行っていただきました。未来につながる社会人基礎力の育成に向けての取り組みを体感しながら背中を押していただきました。

学校保健委員会では、校医さんによる医学的見地からの健康教育、委員のみなさまからはゲームやメディアとの向き合い方などの意見が交わされました。

地域ボランティアのみなさまからの支援は日々行われ、子どもたちの資質能力の向上に繋がっています。



【町議会訪問】



【学校保健委員会】



【べに染め体験】



【家庭科の授業支援】



【1年生：生活科「月山ネイチャーセンター」】

広大なブナの森に溶け込む1年生。「緑がいっぱいあるね」「木の香りがするよ」「あっ、カタツムリが葉っぱにくっついてる」「ブナの木から音が聞こえるよ」「木に登ってみよう」グループごとに協力しながらの山歩き。五感をフルに使って自然との対話からたくさんの気づきや発見をお土産に、たくましくなって帰ってきました。



【2年生：生活科「学区たんけん荒小屋編」】

学校の周りから学びの場所を学区に広げて学ぶ2年生。今回は荒小屋地区を訪問。稲刈りを待ちわび、黄金色に光る稲穂、湧き水、神社、ヘリポート。歩きながら植物や昆虫、生き物との出会いにも目を見張らせました。案内役の阿部区長さん、荒小屋地区の魅力をたくさん紹介いただき、ありがとうございました。

地域愛～未来への伝承 「谷地どんがまつり」

「民族文化の未来への伝承」と題し、谷地どんがまつりにて、北部七町会の屋台・お囃子のお披露目会、豆奴、最終日のまつりの競演と中部小の子どもたちが意気揚々と役を演じていました。地域愛、そして未来への伝承として、出演した子どもたちはもちろん、見学されたみなさんの心にもしっかりと焼き付いたことでしょう。担当地区及び関係者のみなさま、当日はもとよりこれまでの準備も含め大変お疲れ様でした。



【北部七町会 屋台・お囃子】



【中部小豆奴】



【祭りの競演】

ホームページもぜひご覧ください。 <https://member-yachichubu-kahoku.edumap.jp/>  
今月の地域配付は9月30日になります。

